

一般質問 第4回定例会・本会議 (9/21.22.25)



本会議録画中継はホームページからご覧になれます。

市議会HP
 議会中継>本会議録画配信
 >令和5年第4回定例会



発言項目

◎発言順に掲載。太字は下で紹介している質問を含みます。

- 豊島永子 (自民党・市民クラブ・西区)
 - 子どもを育てやすい環境を整えること
 - 女性の健康サポート
 - 商工センター地区まちづくり
- 田中勝 (公明党・西区)
 - 新たな国連機関の誘致
 - 被爆建物に関する国の文化財指定と環境整備等
 - 被爆樹木の剪定枝等の活用
 - 広島平和記念資料館の「ピース・ポスト」の活用
 - 防災減災対策における西広島ハイパス高須地区
 - 少子化対策における赤ちゃんのふれあい体験事業
 - 広島サッカースタジアム等における環境共生への取組等
- 有田優子 (市民連合・市民の声・南区)
 - 南区の県立広島病院の統廃合計画
- 平和宣言
- 平和教育プログラム
- 再生可能エネルギーの導入促進
- 石橋竜史 (新政クラブ・安佐南区)
 - 核兵器廃絶と恒久平和へ向けた取組
- 中村孝江 (日本共産党・安佐南区)
 - 広島市の平和行政
 - 「黒い雨」被爆者の救済
 - マイナ保険証
 - ジェンダー平等の広島市の実現に向けて
 - 学生支援
 - 広島高速道路事業

子どもの保育環境改善を

問 保育士の配置基準について、全国政令指定都市など43自治体のうち6割が国の配置基準とは別に独自の予算・配置基準を設けている。保育現場からも、手厚い配置基準を求める声があるが、本市も改善してはどうか。

答 現在、本市独自に3歳児の保育士配置基準を見直すことについて検討を進めているほか、配慮を要する園児の見守りを常に行うことができるよう、令和5年度から加配基準の改善を図ったところである。また、国の「こども未来戦略方針」に、1歳児と4、5歳児の保育士配置基準の改善が盛り込まれており、この動きを注視しながら、さらなる取組を検討していきたい。



豊島永子
自民党・市民クラブ



商工センター地区まちづくり

問 新中央市場整備事業の整備事業者から公募時に提出された提案に対し、場内関係事業者からさまざまな意見が出ていると思う。今後、どのように事業を進めていくつもりなのか。

答 応募時の提案は、整備事業者のこれまでの実績等を踏まえたものであるが、本市がここに至るまで場内関係事業者と協議してきたことを十分に踏まえたものにする必要があると考えている。このため、整備事業者に対して、場内関係事業者の意見や要望等をしつかりと受け止めた上で、具体的な整備内容等を決定していくよう指導する。

県病院、市民との連携は？

問 県による県立広島病院の移転統合計画に関して、市民の意見の反映が必要であると判断するが、本市はそれをどのように確認しようとしているのか。

答 県は、医療機関再編の影響が予想される地域において、地域懇話会や住民アンケートの実施により、意見の把握に努めている。地域懇話会には本市もメンバーとして参加しており、令和5年度は、これまでに3回開催された。本市としては、県に対して、これらの結果等を踏まえて住民の理解が得られるよう、丁寧な説明を求めてきたところであり、今後も、県の検討状況を注視しながら、必要な働き掛けを行っていききたい。



有田優子
市民連合・市民の声



なぜ現在地から移転するのか

問 南海トラフ大地震対策は、宇品神田地域全体の対策が必要で、この津波対策が実施されれば、現在の県病院の立地でも問題は発生しないのではないか。

答 県からは、大規模災害等が発生した場合においても、安定的な医療提供体制を確保することに加え、地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター、中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院など、県の基幹病院として、交通アクセスの利便性が高い立地が望ましいことなども、新病院を東区二葉の里に整備することにした理由であると聞いている。

平和記念公園は市長の私物か？

問 パールハーバー国立記念公園との姉妹公園協定は、米国の原爆投下責任を不問にし、「広島ビジョン」で岸田首相が容認した「核抑止論」を受け入れるということになるのではないかと、白紙撤回しないのか。

答 この姉妹公園協定は、米国の責任に係る議論は現時点では棚上げにし、まずは、核兵器の使用を二度と繰り返してはならないという機運の醸成を図るために締結したものである。「広島ビジョン」の中の核抑止力を肯定する記述は、「核抑止論」がすでに破綻していることを明示するものであり、「和解の精神」に何ら関連はない。この協定締結を「平和文化」を市民社会に根付かせるための重要な一歩としたい。



中村孝江
日本共産党



痴漢被害をなくす取り組み

問 痴漢は、お尻や胸を触られる、わざとぶつかられる、匂いをかかれるなど、あらゆる場面で多岐にわたる被害があり、個人の尊厳を侵害する行為である。本市は痴漢などの性被害についてどのように認識しているのか。

答 痴漢等の性被害は、人権を踏みしめる重大な犯罪被害であり、決して許されるものではないと認識している。このため本市では、「第4次広島市安全なまちづくりの推進に関する基本計画」の重点取り組みの一つに、子ども・女性への犯罪防止を掲げ、警察など関係機関と連携し、各種取組を進めている。

被爆樹木の剪定枝等の活用

問 被爆樹木は、平和を伝え、発信する「もの言わぬ証人」として、被爆の実相を語り続けている。その被爆樹木の剪定枝等は、他にはない貴重で大切な木材であり、その活用策を検討してはどうか。

答 被爆樹木の剪定枝を活用した商品化等の取り組みは、被爆樹木のさらなる周知を図り、日常生活の中で平和について考え行動する平和文化を市民社会に根付かせ、平和意識の醸成を図ることに資すると考えられることから、今後、所管局と協議を進めていききたいと考えている。



西広島ハイパスへの土砂流入防止

問 大雨により崩壊した高須地区の法面等の土砂が西広島ハイパスに流入することを防止するため、国に崖地の崩落防止対策の実施を要望したところ、検討することになった。どのような対策をいつまでに講じる予定か。また、この地域の防災減災対策にどう取り組んでいるのか。

答 国に確認したところ、令和6年度の梅雨時期までに、コンクリートの土留め擁壁を設置する予定とのことだった。本市では、施行主体の県と連携して急傾斜地崩壊対策事業を実施しているほか、住民の円滑な避難行動につながる取組を進めている。



田中勝
公明党



原爆資料館の混雑解消

問 G7広島サミット効果も手伝い、資料館への来館者が増えながら、令和5年8月には「資料館への入館2時間待ち」などの報道も耳目にした。一人でも多くの方に被爆の実相に触れてもらうため、何か対策を講じられないか。

答 8月中旬に長時間の入館待ちが生じたことから、当面可能な対応として、チケット販売窓口職員の増員や資料館ホームページでの入館待ち時間の広報などの対策を講じた。一定の効果はあったが、待ち時間の解消には至っていないことから、令和6年度に向けて、さらなる対応策を考えていく。



改めて供養塔納骨名簿

問 原爆供養塔に納められている氏名判明のご遺骨に際し、被爆から78年が経過しては今後、ますます遺族探しが困難になると思われるが、ご遺族に結びつくよう、原爆供養塔納骨名簿の周知、その強化を図ってもらいたい。どうか。

答 この名簿に関する問い合わせは、被爆者や遺族の高齢化に伴い、年々少なくなっている。今後新たに、国内の平和関連施設や団体等に名簿の掲示を依頼するとともに、さまざまな広報媒体を活用した周知の強化に努め、一人でも多くの遺族の判明につながるよう取り組む。



石橋竜史
新政クラブ



いじめゼロの実現へ

問 いじめを受けたときの学校以外の相談機関とその対応は。また、いじめ加害者への「出席停止制度」に対する本市の見解は。

答 本市では、いじめや不登校を含む青少年のさまざまな問題についての相談窓口として、青少年総合相談センターを設置し、心理や教育を専門とする相談員が、電話や面談により相談に応じている。「学校いじめ防止委員会」を中心に、加害児童生徒に対し、自らの行動を振り返り、深く反省し、自らの行動を改善するよう指導しても改善が見られず、他の児童生徒の教育を受ける権利の保障に支障をきたす際には、出席停止等法令に基づく措置も視野に入れた対応を検討していく。

認知症は早期発見が最大の予防

問 認知症は早期に気づき、治療方針を立てることが大事である。本市にはどのような施策があるのか。

答 本市では、認知症の人や疑いのある人を医療・介護の専門職が訪問し、初期の支援を包括的・集中的に行う「認知症初期集中支援チーム」を全区内に設置するなど、関係機関で円滑な連携が図られるよう相談支援体制を整備している。また、認知症サポーターの養成、認知症カフェ設置の推進など、地域で把握した認知症の人が相談支援機関等につながるやすくなる取組ももっている。



治島秀
ひろしま
森ひろ清

